

# 走行チェックシート

日付	2008年8月24日 (日)		時間	～	イベント	全日本選手権 R4 SUGO	
天気	雨		マシン	G S X - R 600 K8	ライダー	行方 知基 新庄 雅浩	
コース	名称	スポーツランド SUGO			気温	19	℃
	コンディション	WET			気圧	982	hpa
	路面温度	(計測時間 )			湿度	86	%
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンO I L	シェルアドバンス		
	ファイナルレシオ	15 × 46 (3.066)					
トランスミッション	1 s t	STD	39/14 (2.785)	4 t h	STD	36/24 (1.500)	
	2 n d	STD	39/19 (2.052)	5 t h	STD	31/23 (1.347)	
	3 r d	STD	36/21 (1.714)	6 t h	STD	29/24 (1.208)	
フロント	パーツ名	STD改 (オーリンズ)		T E N	13クリック戻し		
	スプリング	9.75	N/m	O I L	オーリンズ		
	自由長	mm		油面	155	mm	
	イニシャル	7	mm	残ストローク	11	mm	
	COMP	1回転戻し		突き出し	4	mm	
リア	パーツ名	オーリンズ SU789		T E N	-13		
	スプリング	100	N/m	残ストローク	mm		
	自由長	159	mm	リンク	STD		
	イニシャル	9	mm	リンクロッド	STD	mm	
	COMP (H I)	なし		車高	STD+1mm mm		
	COMP (L O)	-16					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ KR222		銘柄	ダンロップ KR389		
	サイズ	120/70/17		サイズ	165/55/17		
	エア圧	2.2			2.1		
チェック	順位	新庄 2 7 位	行方 3 1 位	位	ベストラップ	新庄 1' 51" 365	行方 1' 51" 541
	水温	℃			油温	℃	
	ガソリン	I N	ℓ		走行距離	km	
		O U T	ℓ		燃費	km/ℓ	

## <コメント>

永かった鈴鹿8耐も終わり、涼しくなり始め路面温度も程よくなり、さぁ！待望の後半戦！！と、思ったら・・・。菅生寒すぎ&雨多すぎ！！テスト走行では、残暑というよりも真夏としか言いようの無い暑さ、気温32度、路面温度52度、だったのにレースウィークは気温20度を下まわり、路面はハードWETで温度は17度、夏予想のスタッフは夏様相・・・長袖なんぞ持つわけも無く、寒い寒い毎日・・・。テストで試した事はリセット！やり直し！！

しかし、裏を返せば周りや、うちよりも上位にいる大勢の方々も同じ事、ここはチャンスと思って当たって砕けろ！！(ほんとに、当たってはいけません)

とばかりに、気持ちも前向きにおりゃーと突き進め！！とは、いかず・・・。速い人は、どんな時でもはやいのです。DRYでも、風が吹こうが大雨であろうが、基本が速いので、どんな時でもなかなか前には出させてもらえません。というよりも、本当にチャンスなのです。速い人はどんな時でも速いのですが、DRYの時より確実にタイムは落ちるのです。どんな人でも路面が濡れていると慎重になります。だけど、自分よりも前にいる人は確実に、自分と同じ人間であり、2本しかないタイヤでバイクを寝かし、前へ前へと速く進んでいきます。雨が苦手な人もいます、同じ条件ならばいちかばちかではなく、いけると思うか、思わないか、1LAP目から慎重になりすぎては、慣れてきた時には走行時間は終わってしまいます。前を走る人が走れるなら、自分も大丈夫！！どんな状況でもあきらめず、俺が1番速い！！そう、思って走るのがレーシングライダーのプライドではないのでしょうか・・・。

RACING SUPPLY

吉川純治